



## 期間限定のショップが朝日町に誕生 【チャレンジショップ アサヒヤ】

JR安城駅から南東へ徒歩約5分。  
朝日町商店街の一角に、  
個性的な手作りの看板が見えてくる。  
そこが昨年12月15日にオープンした  
チャレンジショップアサヒヤだ。  
以前靴屋だった店舗を改装し、  
個性あふれる9つのショップが入居。  
初の試みがまちに新しい風を運ぶ。

### 商店街活性化の起爆剤に

中心市街地の活性化、中でも商店街の活性化は、現在多くの市町村が抱える課題の一つです。本市でも、官民が協力しながら、平成10年から始まった「サンクスフェスティバル」の開催、平成11年には交流拠点である商業活性化センター「クリエイションプラザ」の設置など、にぎわいの創出に努めてきました。  
そんな中で、昨年7月、官民の枠を越えたまちづくり機関「まちづくりAnjo」が組織されました。そして、商店街活性化の起爆剤として企画されたのが、空き店舗を活用したチャレンジショップです。

### 9人のチャレンジジャーが誕生

昨年11月、本紙などを通して、出店者を一般公募。17人の出店希望者の中から、やる気に満ちた9人のチャレンジジャーが選ばれました。  
室内装飾などオープンまでの準備作業も出店者全員で行いました。約1か月の準備時間を共有するうちに自然と仲間意識も。協力し合いながら個性的な店舗に仕上げ、昨年12月15日に、まちへのデビューを果たしました。

#### まちづくりAnjo

中心市街地の活性化に関わる各種団体の活動の連携を図ることを目的として、平成13年7月に発足したまちづくり機関。安城商工会議所を事務局として、安城中央商店街連盟・町内会・市議会・まちづくり市民会議・社会福祉協議会・市役所関係課などで構成される。「まちは市民のステージ！まちにはにぎわいがお似合い！」のキーワードに基づき、昨年秋のサンクスフェスティバルの開催、タウンガイドの作成など様々な活動を展開している。現在、JR安城駅前の電線類地中化についての検討なども行っている。

#### チャレンジショップ

店を持ちたいと考えている人に、期間限定・低料金で空き店舗を貸し、実際に商売のノウハウを学んでもらうことにより、将来の起業を支援する店舗のこと。後継者不足などにより商店街の空洞化が進む中、空き店舗化を解消する対策として、全国で取り組まれている。



デコン店主

高垣弘樹さん

インタビュー  
それぞれの  
思いを聞く



まちづくりA-1000会長

山本泰資さん

岡崎市にある大学へ進学するため、2年前和歌山県から出てきました。サンクスフェスティバルを見に来たことが、安城のまちを知るきっかけになりました。

もともとイベント好きで、様々なイベントの企画などに携わってきました。チャレンジショップに応募しようと思ったのも、とにかくおもしろそうだったから。他所での出店の話もありましたが、安城を選んだのは、一から店づくり、まちづくりに参加できると思うからです。自分たちで作り上げていく感覚が好きなんです。現在のところ、お客さんの入りは正

商店街に空き店舗が徐々に増える状況の中、まちに活気を取り戻そうと様々な試みを行っています。その一つとして、朝日町商店街振興組合と商工会議所が中心になり、空き店舗を有効に活用しながら、若い力を育てる場所にしたいという思いで、このチャレンジショップを企画しました。

出店者には、店舗経営の大変さ、楽しさを体験してほしいですね。ここでの体験は貴重なもの。ここで力をつけて、さらに次のチャレンジを。そんな場所になればいいと思っています。商店街としても、今回の出店を歓迎し、新風を吹き込んでくれることを期

知り合った人が僕の財産

直言してしま一つですね。でも、興味を持って見てくださるお客さんもたくさんいるので、そんなお客さんとの会話を大切にしています。このようなタイプの店は「クチコミ」が命。「コミュニケーション」がとりやすいというメリットを生かし、お客さんとのつながりを持つたり、人と人とのつながりを作ったりする場でありたいと思っています。ここで知り合った人や得た知識は、僕の財産ですね。

各店、連携をとりながら、趣向を凝らしてがんばっています。店の看板もみんなで作ったんですよ。ぜひ一度足を運んでください。

商店街をまちの居間に

待っています。このまま、このまちに根づいてくれればうれしいですね。

現在、コミュニティの崩壊が一つの社会問題になっています。中心市街地活性化は、商店街だけの問題ではありません。地域の連帯、人が育つ場の創出、高齢社会への対応など、様々なまちづくりの観点で考えていく必要があります。

これからの商店街はまちの居間にならなければ。ここを歩くとホッとするとそんな癒しの場になればと思っています。安全で楽しいまちづくりを進め、ここに生まれ、ここで育つてよかったです。考えるまちにしたいですね。

まちの顔が消える？

中心市街地は、古くから公共施設や商店街などの様々な機能が集まり、人々の生活や娯楽や交流の場となってきました。言うならば、そのまちの活力や個性を代表する「顔」とも言わべき場所です。

しかし、車社会の進展により、わたしたちのライフスタイルは大きく変わりました。買物物は近くの商店から郊外の大形店へ。さらに高齢化などを背景に、中心市街地の衰退・空洞化が問題になっています。

人が住み・育ち・学ぶ場所

中心市街地は、いろいろな意味で、これからも地域経済の発展や豊かな生活の実現に大切な役割を果たす場所の一つです。これからの時代のニーズに対応した地域コミュニティの核として、人が住み、育ち、学び、働き、交流する場として再生することが求められています。

まちはみんなで育てるもの

今回のチャレンジショップの出店は、今後のまちのあり方を探る中で考えられた方策の一つです。そして、皆さんにまちを知っていただく、まちづくりを考えたいただきかけとしての取り組みでもあるのです。

ちょっと時間を作って、チャレンジショップをのぞいてみませんか。そして、商店街を歩きながら、将来のまちの姿について考えてみませんか。



①手づくり工房 HOURAI  
銀粘土細工



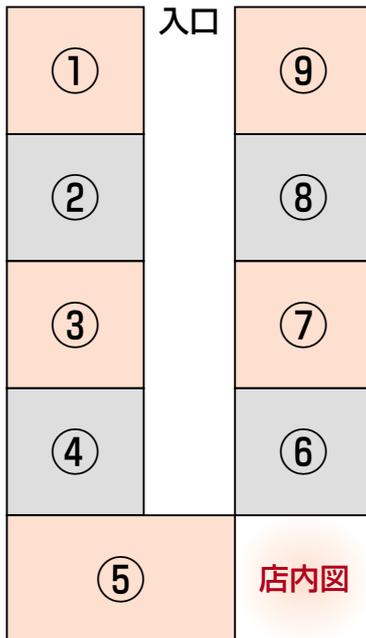
②香蹊華占いの館  
占い・雑貨



③Bumboo jump  
手作り美術工芸品・アクセサリ



④Rose Mary  
タイ式フットマッサージ



⑨パリ貿易 Jalan Jalan  
バリ島直輸入雑貨



⑧漢健茶革命  
香港輸入茶・アクセサリ

個性あふれる9店舗  
夢多きチャレンジャーに  
エールを！



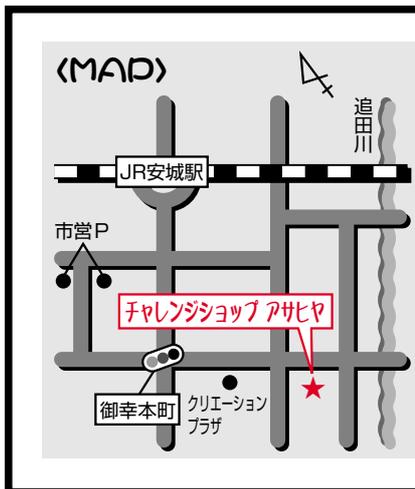
⑦夢工房  
手作り木工品など



⑤デコボン  
愛知学泉大学自主制作衣料雑貨



⑥Body+Balance  
カイロプラクティック&リラクゼーション



### チャレンジショップ アサヒヤ

営業期間▷ 3月17日(日)まで  
営業時間▷ 午前10時~午後7時  
定休日▷ 毎週火曜日  
所在地▷ 朝日町25番6号

※問い合わせは、まちづくりAnjo  
事務局(安城商工会議所内) ☎  
(76)5175) または市商工課へ

### お客さんの反応は？

- ・おもしろいものが多いね。
- ・奥まで入るのに勇気がいるかな。
- ・店長さんと気軽に話ができるのがうれしいですね。

